



「宮の森モール」は札幌市南西部の大倉山山麓の閑静な住宅街にあり、本郷新記念館、札幌彫刻美術館へと続く道として整備された。

舗装パターンは彫刻用の粘土を削る道具をモチーフとし、路面はコンクリートブロック、煉瓦ブロック、御影石を組み合わせ、街路灯、サイン、プランターなど、統一的にデザインされたストリートファニチャーを配しているほか、道端の小広場にはブロンズ像「奏でる乙女」（本郷新作）も設置している。

こうしてこの坂道は緑豊かな街並みと融合して、地区住民や美術館訪問者から潤いのある散策路として親しまれている。